

山下フログ・RUNRUN日誌より

◆障害者自立支援法を考える集会と人間の鎖(7/4)



大阪城内で開かれた障害者自立支援法を考える集会に参加した。この悪法に怒りを感じる人々で会場は満杯の状況。当初目標の 1000 名をはるかに上回る 2500 名の参加となった。

茨木からも自立支援センター、ほくせつ 24、とんぼ作業所から多くの皆さんが参加されていた。このままでは生命と人間性が奪われるという訴えが相次いだ後で、大阪府庁を取り囲む人間の鎖に行動は移る。参加者が多く道行く人に

支障が出るほど。幾重にも取り囲みアピールした。

◆滋賀と東大阪で自公候補に勝利する (7/2)

昼、久しぶりに走る。10 キロを考えてスタートしたが、雨は上がったものの日差しがきつい。5 キロを 8 割のスピードの 22 分 58 秒で走り、復路に 500m のスピード走を 2 回入れた。この日滋賀県知事選挙では社民党支持の嘉田さん、東大阪市長選挙では共産党員の長尾さんがそれぞれ自公推薦候補を破って当選。快挙である。



◆公務員のビラ配りで有罪判決は許せない (6/30)

朝刊に公務員のビラ配りで有罪判決とある。ビラ配りは思想信条、表現の自由の最たるもの。これを制約することなど本来あってはならない。もしあるとすれば、それ相当の理由が必要だ。一体公務員がビラ配りで誰にどれだけの迷惑をかけたというのか。一方警察は何日も大量動員し、こそこそとビデオ撮影。プライバシーへの配慮など微塵もない。どちらが社会常識を逸脱しているかは明らかだ。警察は権力の僕と化し、裁判所は憲法の番人ではなく権力の番人、ちょうちん持ちになっている。この国の民主主義が地に堕ちて久しい。

昼から役所で仕事。役所から支給されているノートパソコンが先日入れ替えとなった。性能が良くなったのはいいが、データやソフトの入れ替えは面倒だ。トラブルか起きる度に事務局の世話になり申し訳ないと思う。

夜はHPで反核平和の火リレーのページ作り。多くの写真から何枚か選び、サイズを小さくし、濃淡など加工する。結構時間をくったが楽しいものである。

◆毎年恒例の反核平和の火リレー(6/28)

まずまずの天気ですスタートしたものの、昼からは夏の太陽が照りつけ、すっかり日焼けしてしまいました。茨木では同じ元気市民会派の桂、小林の両議員も参加、限界まで走ってくれ、高槻では野々上議員も枚方方面のランナーに、一段とにぎやかになった。

毎年参加してくれる障がい者の生活の場は「どかどか」、「ぼかぼか」に加え、今年から「ふかふか」も参加。年間行事に入れてもらっている。今年も茨木市役所から阪急茨木市駅まで歩き、走り、車いすにのって、平和とあたりまえの社会参加をアピールした。原爆被害者の会、行政の皆さんの協力も含めてこの取組みが成り立っており感謝している。



夜は郵政民営化によって大岩郵便局の集配業務がなくなり、住民へのサービスが低下する問題で郵便局の仲間と一緒に相談。ビラ配布も含め大岩局管内への働きかけを進めることを決める。終了後、飲みに行く。

◆少数だからこそ、出来る事もある(6/26)

今日届いた社会党の頃からの旬刊「社会通信」(1977年12月に第三種取得)971号に「連合と悪法」という一文があり、「二つの保守政党が「改革」の名のもとに、反動政策を競い合う。・・・木にたとえれば幹は同じ。枝葉に違いを作ってるだけだ。月日とともに枝葉は伸び大地は暗黒の世界となる」とある。また労組・連合も同様で、「内部で意見が分かれ、反動の流れにまかせている」と書かれている。少数だと嘆くよりも、少数だからこそ、出来る事があると私は思いたい。なお私の国民保護関連条例の反対討論も掲載されていた。

◆人間は一人では生きていけない(6/25)

早朝ビラ配布。マンションの集合ポスト前で知合いの方に会う。夫が癌と診断され自宅療養中とのこと。元気な方だっただけにびっくりする。病状の回復を祈るしかない。

小雨がぱらつく中、安威川をきれいにする会でごみ拾い。中流部だったが最近の雨でごみが浮き上がっており、拾いやすかった。

ごみ拾いが終わって、脳腫瘍で済生会に入院中のHさんをKさんと一緒に見舞う。心配したが思ったより元気。また一緒に走れたらと思う。

いばらき自立支援センター・ぼぼんがぼぼんの総会。第二部として牧ロー二さんの記念講演があった。「人間は一人では生きていけない。それは障がいがあっても、なくても一緒だ。そのことが分かっていない健常者がまだいる。また障がいを理由に資格が失われる欠格条項がまだ残っており無くしていきたい」と話された。後で食事と懇親会に参加。

